

- 日本製紙従業員組合昭和十年度大會
- 一、日時 昭和十年十月三十日 自午後六時二十分至同九時十五分
 - 二、會場 八幡市 八幡製紙所大谷會館
 - 三、參加者 代議員四九五名
 - 四、會場に協行たるスローカーン
- 全従業員を組合旗の下に
 - 製紙産業の國家統制徹底化
 - 臨時工制度の撤廃—職大を職工にせよ
 - 一週四十八時間労働制を即時實施せよ
 - 物價が上つた—賃金を上げろ
 - 完全なる労働組合法を即時制定せよ
 - 増増三割を本給に—退職手當を増額せよ
 - 生産額の暴逆

五、大會の内容

1、開會の辭 司會者 加藤良左衛門

本日第三回大會を開催するに當り簡單に御挨拶する。

昭和八年八月組合結成されるや、~~我~~學業才にして組合長の席を汚し昨年も亦丹波の推薦を受けたることを尤事に思ふ。本年は日本産業労働協進組合と合同し四十文部を數へ益々盛大となつた事は向後に述べない。

茲に一言御職を言ひたいのは國際労働會議に参加した事、諸君の鞭撻指導により任務を果した事を感謝する如何に組合と言ふものが必要であるかを相慮した、國情に即した組合は必要である。全従業員が加入し一層組合の隆昌を希冀する未だ組合に就し度いか來月十一月が満期となる、辭めても組合